

アクティブ・ラーニングの取り組みについて

本学では、今年度からすべての授業にアクティブ・ラーニングを導入することに取り組んでいます。アクティブ・ラーニングは「能動的学修」と訳されますが、「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等によっても取り入れられる。」(中央教育審議会答申)とされます。



政府が高等教育の質的転換のために推進しているものです。本学でもこれまで16年間にわたるFD活動(授業内容・方法を向上させるための組織的な取り組み)で推進を図ってきましたが、今年度は更に集中的に全員で研究・実施に努めています。

授業を受身で聞いていただけでは、なかなか頭に入らずすぐ忘れてしまいます。そこで学生を受身にさせないために、様々な工夫をします。授業のポイントを受講者ペアで1分ずつ説明しあったり(Think, pair & share)、グループ内で分担した学修内容を持ち寄り共有したり(ジグソー学習)します。4月の学内研修会では32の技法を学びました。学修内容について理解が深まるともに、コミュニケーション能力や協力すること、言語能力が高まることなどが期待できます。そして学びの面白さに目が開かれ、授業外で積極的な研究に繋がることを期待しています。



「秋の忍ヶ丘祭に向けて」

秋の忍ヶ丘祭実行委員長 長友 さゆり

今年も秋の忍ヶ丘祭を10月25日・26日(土・日)の2日間で行うことになっております。今年のテーマは「ありのままの～MIYATAN～」です。映画「アナと雪の女王」で使われた歌からとりました。この映画の主人公のように、学生全員が「ありのままの姿を見ることができ、目指している学園祭を行うことができますように、地域の方々も含めて皆様からのご協力をお願い申し上げます。また、今年度は宮崎国際大学の学友会と協力し合う場も多くあると思います。新たな絆が芽生えることにも期待いたしております。



「子どもの音楽あそび」の豊かさに触れた保育研修会

7月13日(日)の研修会には県内の保育園・幼稚園の先生方55名の参加がありました。本学中武亮子准教授と後藤祐子講師が、音楽療法のステップアップ講習会を兼ねた講座を行い、「声と歌による表現」「楽器による表現」演習とグループでの創作及び発表を行いました。受講された方々からは、改めて音楽の可能性を実感した、日常の保育にいかしていきたいなどの感想が寄せられました。この研修会に音楽科2年生6名専攻科生3名の学生がお手伝いとして参加しました。



後援会会議報告

平成26年度 後援会役員(H26.4.7現在)			
役職名	氏名	在籍学科・学年	
会長	川東 邦光	保 2 E	
副会長	原田祐三子	現 1 医	
	佐藤 芳信	学生支援部長	
顧問	山下 忍	学長	
	田村 浩一	保 2 C	
理事	押川 幸廣	保 1 F	
	宗和 太郎	副学長	
	山下 恵子	学長補佐	
	原田 真理	教務部長	
	野崎 豊子	事務局長	
会計	戸高 桂子	音 2	
	森山 裕文	総務課長	
監事	藤本 陽子	現 2 文	
	友部 義郎	現 1 ビ	
書記	古川 秀幸	初 2	
	河野 豪	教務課長	



平成26年7月8日(水)左記の新役員による後援会役員会を行いました。

大学役員から短大の現状及び学生の状況等の説明後、平成25年度決算、平成26年度予算に基づく支援内容に係る確認等を行いました。

短期大学と保護者の架け橋として活動して参りますので、ご協力の程、よろしくお願ひします。

0・1歳児とその保護者を対象にした「親子ふれあい遊び」

宮崎市清武地域子育て支援センターを会場とした7月23日(水)24日(木)両日の子育て支援セミナーには親子合わせて149名の参加がありました。本学中武亮子准教授と後藤祐子講師が担当した「親子ふれあい音楽遊び」の他、子育て・発達相談、展示を行いました。親子で楽しまれ、音楽遊びについては遊び方を学ぶ事ができたので、家でもしていきたいなどの感想が寄せられました。本学保育科1年生17名がお手伝いとして参加し、パネルシアター・音付き絵本を演じ好評でした。



10 後援会だより

October 2014 Vol. 25



子育て支援セミナー

理事長退任のご挨拶

学校法人宮崎学園
前理事長 大坪 久泰



本年7月31日をもって学校法人宮崎学園理事長の職を退任することになりました。在職26年余の間は多事多難の時代でしたが、何とか宮崎学園短期大学を含む学園全体の舵取りができましたことは支援してくださった皆様のおかげと感謝しています。

在職中のことで、最も印象に残っているのは、一昨年の創立記念日に、建学の精神「礼節・勤労」について、私の思うところを学生に率直に話したときの学生の対応です。当日は体育館使用上の都合で、学生は固い板床に直接座り、私の話を1時間に亘り静かに熱心に聞きました。講話は、礼節とは嘘を言わないこと、卑怯なことをしないこと、笑顔で挨拶することであり、勤労とは、向上心をもつ、勉強をする、怠けないことであるなどというものでした。

学生がこのような講話を熱心に聞くとは予想していませんでしたので、驚きました。このような講話を熱心に聞く、素直な心を持つのが短大の学生を誇りに思っています。この学園で働いたことは私の誇りです。

理事長就任のご挨拶

学校法人宮崎学園
理事長 山下 恵子



平成26年7月31日をもって学校法人宮崎学園理事長をご勇退されました大坪久泰先生の後任として8月1日に就任いたしました山下恵子でございます。

まずは26年間という長きにわたり宮崎学園の理事長として、本学園の発展のために寄与されました大坪久泰先生のご功績に対し、深く敬意を表し、また、感謝申し上げます。

私は、教員として第1歩を短大保育科から踏み出しました。保育士、音楽療法士の養成に関わらせていただき、学生や卒業生、教職員の方々から多くの事を学ばせて頂きました。25年間の教員生活の中で、未来に向かって社会に貢献できる人を育てる、教員という仕事の素晴らしさを知りました。大変有難いことだったと思います。

今後は、創設以来75年間育まれてきた建学の精神「礼節・勤労」に基づく人間教育を根幹において、一人ひとりを大切に育む教育を継承し、全教職員の皆様と共に頑張っております。後援会の皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

保育フェスティバルご案内 今年も2回開催します！

第1回 平成26年10月25日(土) 10:00～15:00 本学交流センター(秋の忍ヶ丘祭同時開催)

第2回 平成26年11月29日(土) 10:00～15:30 イオンモール宮崎イオンホール

保育フェスティバルは、乳幼児とその保護者を対象にした公開イベントです。「0・1歳児」「2歳以上児」の部屋に分かれて、本学保育科の教員と学生が「親子ふれあい音楽遊び」「汽車に乗ってGO!」「アニメアドベンチャー」「ダンボールランド」など楽しい遊びコーナーを用意しております。子どもたちに大人気の「風船ぶたさん」の製作コーナーもあります。入場無料、事前予約不要。お子様と一緒にお気軽においで下さい。お待ちしております。

今一度、覚悟を新たに！ 学長 山下 忍



この7月末日で、26年の永きにわたって学校法人宮崎学園の理事長をお務めになった大坪久泰先生がご勇退になり、翌日8月1日付で、理事長補佐を務めておいでだった山下恵子先生が第3代理事長に就任されました。

第2代理事長の長期にわたるご苦勞に衷心から感謝の意を表し、また、新理事長のご覚悟に深く敬意を表しながら、宮崎学園に係わる私達全ても、改めて気持ちを引きしめ、学園の新たな歩みの第一歩を踏み出したいと思っております。

ご承知いただいているかと思いますが、私達の宮崎学園短期大学は、平成27年度に創立50周年の大きな節目を迎えます。また、時を同じくして、建物の大改修が行われます。

思えば、あれもこれも、新たな歩みの始まりです。「日本一の地方短大」、それが私達の旗印です。この旗印に恥じないキャンパスを、学生、教職員、保護者、心一つにして築きあげたいと思っております。

輝き続ける 昨日 今日 明日

輝き続ける 初等教育科

初等教育科長 黒木 國泰

春には、春の忍ヶ丘祭（はるしの）体育祭を音楽科とともに優勝し、今まさに秋の学園祭、秋の忍ヶ丘（あきしの）文化祭を目前（10月25日〔土〕、26日〔日〕）にしています。

ふり返ると、5月末から3週間の子どもたちと過ごした憧れの教育実習、小学校教員採用選考試験を受験、そして8月には5日間の社会福祉施設での介護等体験を終え、学生は一段と成長して登学してきました。9月には学期末試験の試練を乗り越えて今、静かに熱く自らの生きるべき道筋を見定めようとしています。いよいよ目指す進路に向けて、就職試験や入学試験に挑むことになります。

初等教育科にかわって、今春から宮崎国際大学教育学部に新入生が入学しました。いわば初等教育科の1年生は宮崎国際大学で育ちはじめたと言えます。すべての行事が、初等教育科にとって「最後の」という冠がつかます。学生の成長を喜びながら、ともに過ごせる幸せをかみしめています。この26年度後半を、ともに学びあい切磋琢磨していきましょう。

初等教育科最終の学生として

初等教育科2年 湯地 帆奈美

入学式が過ぎて一年半が過ぎようとしています。初等教育科は本年度が学科最後の年です。学校での生活、先生方、そして私達、初等教育科2年生21人にとって、何もかもが「初等教育科としての最後」になっています。卒業式を迎えるまで残すところ半年となり、卒業後にそれぞれの道に進むことになります。近い将来、社会人となり「初等教育科卒業生」としての誇りをもち、恥じることはないよう残りの学生生活を充実したものにしていきたいです。



幼稚園教育実習



教育実習前指導



小学校教育実習

輝き続けるということ

保育科長 野坂 敬

萌えつつ生命感あふれる木々の緑の春、夏の厳しさを乗り越えて山々がその生命を燃え上がらせていく秋。一年一年の季節の巡りの中で根を張り、幹を太らせ、枝を広げ、自分を最大限に表現している自然の力。このような自然がみせる様々な輝きは、本学で学び、卒業し、子ども達の輝く笑顔と成長の姿に感動しながら自らも保育者として輝き成長していく、卒業生の姿に同じものを感じます。本学の保育科は、創立当初から本県の「児童福祉分野」に貢献してきた学科です。「子どもが好き」という小さな苗を守り育て、社会に送り出し、諸先輩に育てて頂いての協働作業が来年には、50年という節目を迎えます。このことは、本県のあらゆる福祉分野で活躍される諸先輩が、後に続くもの指針として築きあげられた歴史の重さであり、本学が最大の誇りとしているものであります。私達は県の福祉人材の養成の中核として輝き続けることが「使命」として受け止め、増々幹を太らせ、枝を広げていきたいと思っています。



幼稚園教育実習前指導



あきらちゃんコロツケちゃん特別授業

音楽科 昔～そして今～

音楽科長 末平 浩康

この9月に入って、立て続けに音楽科の卒業生が何人も短大にやってきました。県内に在住している卒業生はもちろん、中には、京都から、また、東京から訪れてくれました。どうやら、来年度は、この第3棟の音楽棟が壊され、改築されるということを知り付けたらしく、自分達の学んだレッスン室や教室などで、かつて自分が座った机に座って、感慨深く写真に取っていました。音楽科ができたころは、何と50人位の学生がいたそうで、当時は、ピアノ専攻と声楽専攻がほとんどでした。そのころは、女の子のほとんどは、ピアノを習い、各家庭では、ピアノを購入して、それを嫁入り道具の一つと考えるような時代だったのです。今や、ピアノは、重量があり、場所もとるといって、家庭によっては少々厄介な家具との感があります。それに、電子楽器などの普及と音楽の多様化で、音楽の世界も様変わりを見せています。短大の音楽棟が近い将来なくなるとも、この忍ヶ丘には、いつも素敵な音楽が流れ続きます。その音楽を、霧島山が、そして、日向灘の潮騒がいつも聴いてくれています。

音楽の力

音楽科2年 戸高 由貴

私にとって音楽は、人と人を繋げる素晴らしい力を持っている存在です。学校でも、そう思うことが多々あります。特に、音楽療法では、他者との音での会話から、様々な表情の音楽に発展していった時、一人ではないという実感がわきました。演奏者も聴いている人も同じ音楽を共有している空間で繋がっているからこそ感じたのだと思います。今年で音楽科は最後ですが、音楽での繋がりはこれからもあり続けると思います。



音楽療法授業



津軽三味線入賞



オープンキャンパスウェルカムコンサート

輝き続ける あなたの道！

人間文化学科・現代ビジネス科
学科長 久保 良一

歌詞に「時」を折り込んだ一節があります。たとえば、「時の流れに身をまかせ・・・」など、私たちの人生を時にたどったりします。本学科生も、入学し卒業するまで家庭や社会生活等、過去（昨日）・現在（今日）・未来（明日）の中で、喜怒哀楽を味わっています。例えば、本年度から、高次（上級）検定を受験させていますが、多くの学生が合格しています。一日、一日の積み重ねが合格に繋がります。就職でいえば、何年も4大学生しか採用しなかった企業に本学の文化ビジネスコースの学生が合格しています。これらも、学習の積み重ねでしょう。また、8月下旬に、UMKテレビ系列の24時間テレビで、人間文化学科、現代ビジネス科の多くの皆さんが、ボランティアスタッフとして目を輝かせて頑張っている姿がありました。その時、その時の前向きな行動を起こしています。このように、本学科生は、日々のキャリアを積み重ねるといって努力を怠らぬのが自慢であり、輝き続ける自分の道を創りだしています。



企業簿記授業



タブレット端末説明会